（1）基礎分野

〖ねらいと構成〗

基礎分野は、看護を学ぶ上での基礎となる力を培うことを目的とする。
看護を展開するための基礎的能力としての人間関係を形成する力、科学的思考の基盤となる基礎知識、看護の対象である人間とその生活を幅広く学ぶ。

基礎分野 13単位	科学的思考の基礎	情報科学	1単位 30時間	情報の重要性　情報機器の活用
		生命科学	1単位 30時間	生命の起源と進化　細胞　生殖と発生　遺伝
		文章表現	1単位 30時間	文章を読む技術　文章を書く技術
	人間の生活と社会の理解	教育学	1単位 30時間	看護と教育の関わり
		人間関係論	1単位 30時間	人間関係に関する基礎理論 人間関係における諸問題　問題解決の知識と能力
		組織論	1単位 30時間	人間社会の規範 組織の諸問題の解決方法
		文化人類学	1単位 30時間	異文化の人々の生活習慣 異文化の人々の健康、病気についての考え方
		英語Ⅰ	1単位 30時間	医療・看護における英語の基礎知識
		英会話Ⅰ	1単位 15時間	英語の表現力と読解力（日常会話）
		英会話Ⅱ	1単位 15時間	英語の表現力と読解力（医療現場）
		保健体育	2単位 60時間	運動の必要性の理解　運動の実践
		家族論	1単位 30時間	家族関係に関する基礎知識

科目群：基礎分野

3年度	授業科目	情報科学	担当教員	入江　洋子	単位（時間数）	1(30)
第1学年					担当時間数	30

授業科目に関連した実務経験の内容	プログラミング・システム設計経験13年
実務経験を活かした実践的な授業内容	企業における経験を活かし、パソコンを使い情報の収集・処理・蓄積管理・活用について身に付ける。

学習目的・目標	ICT(Information and Communication Technology)活用は社会のあらゆる分野に浸透してきた。 看護の分野に於いてもICT活用はますます重要なものとなっている。 本授業ではﾊﾟｿｺﾝを使い、情報の収集・処理・蓄積管理・活用について学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	8/31	・PC利用規則、・PC構造、PC用語の説明、ファイル管理	講義・演習	視聴覚教室	
2	8/31	・フォルダ作成、タッチタイピング、文書入力入門	講義・演習	視聴覚教室	ﾀｯﾁﾀｲﾋﾟﾝｸ
3	9/7	・Wordの基本操作、文書入力と編集、印刷	講義・演習	視聴覚教室	
4	9/7	・文書保存、ファイル名の構成	講義・演習	視聴覚教室	
		・Webﾒｰﾙ、ファイルの添付とダウンロード			ﾒｰﾙ送受信
5	10/5	・表作成、表のレイアウトと編集	講義・演習	視聴覚教室	表作成
6	10/5	・文書編集、図形挿入	講義・演習	視聴覚教室	ﾎﾟｽﾀｰ作成
7	10/12	・Excelの機能と基本操作、表作成、計算式の入力	講義・演習	視聴覚教室	
8	10/12	・関数１（SUM）、相対参照と絶対参照の区別１	講義・演習	視聴覚教室	
9	10/19	・関数２（AVERAGE、MAX、MIN、ROUND）	講義・演習	視聴覚教室	
10	10/19	・関数３（IF、RANK）、相対参照と絶対参照の区別２	講義・演習	視聴覚教室	表作成（関数）
11	10/26	・グラフ作成（棒グラフ、円グラフ）とグラフの編集	講義・演習	視聴覚教室	表・ｸﾞﾗﾌ作成
12	10/26	・データベースの基本（並び替え・抽出）	講義・演習	視聴覚教室	
		・PowerPointの基本操作、スライドショー、アニメーション効果			
13	11/2	・入力試験	講義・演習	視聴覚教室	発表資料作成
		・PowerPointによるプレゼンテーションに向けたスライド作成			
14	11/2	・PowerPointを使ったプレゼンテーション　テーマ「自己紹介」	演習	視聴覚教室	発表
15	11/9	・試験、授業のまとめ		視聴覚教室	

評価方法	☆以下の視点で総合的に評価する。 ①出席状況　②課題提出状況　③演習態度　④試験（試験時間は、50分で行う。）
教科書	培風館　初歩から学ぶ情報リテラシー　オフィス2019/Windows10対応 適時ﾌﾟﾘﾝﾄを配布
参考書	適時指示する
履修上の留意点	1. 授業当日の作品は次回の教材へと継承される。 2. 毎回の授業の積み重ねが大切であるから、遅刻や欠席をしないこと。 3. 適時課題を課す。

※実務経験は令和3年4月1日現在

科目群：基礎分野

3年度	授業科目	生命科学	担当教員	島田　京子	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	30

学習目的・目標	・授業を通して生命の歴史と共に生物を概観し、多様な生物の中の「ヒト」についての理解を深める ・生体を構成する細胞の構造・機能を知り、生体内における様々な反応について、理解し説明できる。 ・人体の構造と役割を理解し、説明できる。 ・授業を通して、自分なりの生命観を持つ

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	/	1：生命体のつくりとはたらき～細胞とその機能	講義	教室	
2	/	1：生命体のつくりとはたらき～生物の隣人・ウイルス	講義	教室	
3	/	2:生体内の化学反応～代謝とエネルギー・ATP	講義	教室	
4	/	3：細胞の増殖とからだのなりたち	講義	教室	
5	/	3：多細胞生物とがんになるしくみ	講義	教室	
6	/	4：DNAとその複製	講義	教室	
7	/	4：遺伝情報の発現	講義	教室	
8	/	4：遺伝子組換え技術とゲノムの構造解析	講義	教室	PCR法をプリント上で体験してみよう
9	/	5：生殖と遺伝（ヒトの遺伝を中心に）	講義	教室	
10	/	5：動物の発生	講義	教室	
11	/	6：個体の調節、各器官系のはたらき	講義	教室	カラダ地図を作る
12	/	6：免疫系、神経系相関と液性相関	講義	教室	
13	/	7：刺激の受容と行動、環境の情報とその受け入れ	講義	教室	
14	/	7：神経系の伝達物質、神経系の系統的発達	講義	教室	
15	/	試験、授業のまとめ		教室	

評価方法	筆記試験と提出物にて評価する。筆記試験は45分で、配点は100点で行う。
教科書	医学書院　系統看護学講座　基礎3　生物学
参考書	授業中に配布するプリント
履修上の留意点	授業は、スライドとプリントを用いて行います。学習内容が多いので、プリントの復習をすることが望ましいです。

科目群：基礎分野

3年度	授業科目	文章表現	担当教員	上地　香杜	単位（時間数）	1(30)
第1学年					担当時間数	30

学習目的・目標	論理的な思考能力を養うこと。 文章表現能力を高めること。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	ガイダンス・自己紹介	講義	教室	
2	／	基本的な文章の書き方—段落構成の書き方	講義	教室	課題1
3	／	基本的な文章の書き方—具体的な書き方	講義	教室	課題2
4	／	基本的な文章の書き方—正確に伝える書き方	講義	教室	課題3
5	／	情報を要約する—重要な情報を見つける	講義	教室	課題4
6	／	情報をもとに考察する—自分の考えを深める	講義	教室	課題5
7	／	情報をもとに自分の考えを伝える—自分の考えを伝達する	講義	教室	課題6
8	／	情報を調べる—図表の読み取り	講義	教室	課題7
9	／	情報を収集する—今後の医療・看護を考える	講義	教室	課題8
10	／	レポートを作成する—情報を正確に伝える	講義	教室	課題9
11	／	「病の語り」をつくる—「語り」を聞くことの意味	講義	教室	課題10
12	／	「病の語り」をつくる—自分の経験を文章にする	講義	教室	
13	／	「病の語り」をつくる—グループでの発表	講義	教室	
14	／	「病の語り」をつくる—全体での発表	講義	教室	
15	／	試験、授業のまとめ		教室	

評価方法	提出物50%、試験50%(試験は60分で行う)
教科書	特になし
参考書	高谷修，2013，『看護学生のためのレポート論文の書き方』
履修上の留意点	学習目的を達成するために、積極的な態度で授業にのぞむことが望ましい。 授業では，講義資料と課題を配布するため，保管用のファイルを用意することを勧める。

科目群:基礎分野

4年度	授業科目	教育学	担当教員	神内　陽子	単位(時間数)	1(30)
第2学年					担当時間数	30

学習目的・目標	**【目的】**教育学は「人間とは何か」「人間はどう生きるべきか」という問いから出発し、人間社会に固有な営みとしての教育のあり方を探究してきた。本授業では、教育学の基本的な考え方を学び、教育に関わる様々な事象を主体的かつ批判的に考える力を身につけることを目指す。 **【目標】** 1. 成長・発達への教育の影響および人間にとっての教育の意義を理解する。 2. 看護における教育的役割を実践するための基礎的知識を理解する。 3. 専門職業人として主体的に生涯学習を行う必要性を理解する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	なぜ教育学を学ぶのか？:人間理解と教育	講義	教室	
2	／	教育の歴史と制度①	講義	教室	
3	／	教育の歴史と制度②	講義	教室	
4	／	こころの発達は測れるか？:学力問題と道徳教育	講義	教室	
5	／	大人になること:アイデンティティとライフサイクル	講義	教室	
6	／	学校は監獄？:近代学校批判とエンパワーメントの教育	講義	教室	
7	／	患者指導に向けて:指導の基本と工夫	講義	教室	
8	／	演習「集団指導」①	演習	教室	
9	／	演習「集団指導」②	演習	教室	
10	／	教育とケア①	講義	教室	
11	／	教育とケア②	講義	教室	
12	／	特別なニーズをもつ子どもと向き合う①	講義	教室	
13	／	特別なニーズをもつ子どもと向き合う②	講義	教室	
14	／	看護師としての学習とキャリア開発	講義	教室	
15	／	授業まとめ・試験		教室	

評価方法	定期試験70%(筆記試験は、45分で行います。)、授業への参加状況30%
教科書	中井俊樹・小林忠資編著,『看護のための教育学』医学書院.
参考書	授業時に適宜、紹介する。
履修上の留意点	授業は主に講義形式で進める。プリントを配布し、適宜グループワークも行う。教科書の内容に限らず、教育学の基本的な理解に必要と思われるトピックも扱う。毎回の授業後にリアクションペーパーを提出すること。

科目群：基礎分野

3年度	授業科目	人間関係論	担当教員	青柳　眞紀子	単位（時間数）	1(30)
第1学年					担当時間数	30

学習目的・目標	コミュニケーション技術に関する基礎的な知識・理論と技術を身につけ、医療社会の一員としての望ましい心構えや、医療従事者としての諸活動に適切に対応する能力と態度を身につけることを目標とする。 1.よりよい人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につける。 2.医療現場において効果的に業務を行うためのチームコミュニケーション能力を身につける。 3.演習を振り返り、必要な事柄に自ら気づき、学び取る能力を身につける。 4.学んだことを、実際の生活や職務に般化できるように文章化する。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	2月1日	ガイダンス　授業の進めかた、レポートの書きかたなど	講義	教室	
2	2月1日	絵による伝達競争 伝える側と伝えられる側　レポート①	演習講義	◎	①
3	2月4日	流れ星 two-wayコミュニケーション　レポート②	演習講義	教室	②
4	2月8日	おもしろ村　グループワーク	演習講義	教室	
5	2月8日	おもしろ村　解説 リーダーシップなど　レポート③※	講義	教室	③
6	2月15日	カウンセリングマインド ロジャースの3条件	講義	教室	
7	2月15日	きく、ということ　レポート④	演習講義	教室	④
8	2月22日	カウンセリングの技法① かかわり技法	演習講義	教室	⑤-1
9	2月22日	カウンセリングの技法② 最小限度の励まし、いいかえ	演習講義	教室	⑤-2
10	3月1日	カウンセリングの技法③ 焦点の当てかた技法　レポート⑤	演習講義	教室	⑤-3
11	3月1日	めかくし探検　レポート⑥※	演習講義	◎	⑥
12	3月8日	対話的関係の自己点検　レポート⑦※	講義	教室	⑦
13	3月8日	認知症①基礎知識	講義	教室	
14	3月15日	認知症②理解と対応	講義	教室	
15	3月15日	認知症③家族・介護者への対応　レポート⑧＋最終レポート	講義	教室	⑧＋最終

評価方法	毎回のレポート（約80%）および最終レポート（約20%）で評価します。
教科書	なし
参考書	授業内で紹介します。
履修上の留意点	レベルの高いレポートが求められます。解説は適宜メモを取ること。レポート作成の時間を充分に確保すること。 事後学習：指定された書式でレポートを作成する。演習中の自分の感情、授業内での解説内容と、自ら気づき、学び取ったことを書く。さらに、看護の現場でどのように学びをいかしていくか、それができるために今から気をつけることは何か、できることは何か、今すぐできる具体的な行動目標として記述する。

科目群:基礎分野

3年度	授業科目	組織論	担当教員		単位(時間数)	1(30)
第1学年					担当時間数	30

学習目的・目標	人間社会の規範及び各種諸問題を組織論的に解決する方法を学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	組織論の意義	講義	教室	
2	／	組織の病気へのアプローチ	講義	教室	
3	／	組織力の原理	講義	教室	
4	／	組織力の比較	講義	教室	
5	／	非公式組織の意義(1)	講義	教室	
6	／	非公式組織の意義(1)	講義	教室	
7	／	会議運営	講義	教室	
8	／	組織内情報	講義	教室	
9	／	強い組織への原理	講義	教室	
10	／	人事評価システムへの意義	講義	教室	
11	／	職務権限の意義	講義	教室	
12	／	職務権限の委譲	講義	教室	
13	／	監督責任の発想	講義	教室	
14	／	職務権限委譲の困難性	講義	教室	
15	／	総括	講義	教室	
16	／	試験		教室	

評価方法	筆記試験にて評価する。60分の試験をし、配点は100点とする。
教科書	成文堂 『組織のトラブル発生図式』
参考書	
履修上の留意点	

科目群：基礎分野

3年度	授業科目	文化人類学	担当教員	松宮　朝	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	30

学習目的・目標	現代社会の諸問題に対してどれだけ迫ることができるか、また、どのような実践的な課題を見いだせるかという点から、議論したいと考えています。そこから、講義で扱うテーマを含む様々な社会の問題に対する情報を受け止める力、理解する力を獲得することが到達目標です。 特に重視したいのが、看護師の仕事にとって、文化を考えていくことがどのように役立つかです。近年、話題となっているメディア、生命、少子化、環境、多文化共生などのテーマについて1つ1つ丁寧に考えていきたいと思います。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	文化人類学に何ができるか	講義	教室	小レポート
2	／	コミュニケーションの文化	講義	教室	小レポート
3	／	消費と文化	講義	教室	小レポート
4	／	メディアと文化	講義	教室	小レポート
5	／	環境の文化と生命	講義	教室	小レポート
6	／	家族・人間関係の文化をめぐる問題	講義	教室	小レポート
7	／	人びとの行動を変える文化的実践	講義	教室	小レポート
8	／	身体・生命の文化を考える	講義	教室	小レポート
9	／	地域の文化的多様性	講義	教室	小レポート
10	／	文化人類学のフィールドワーク	講義	教室	小レポート
11	／	日本で暮らす外国人について	講義	教室	小レポート
12	／	外国人との共生を考える	講義	教室	小レポート
13	／	「多文化共生」：地域での実践から	講義	教室	小レポート
14	／	現代社会と文化の問題：文化人類学の可能性	講義	教室	小レポート
15	／	まとめ・テスト	講義		小レポート

評価方法	授業時に実施する小レポート（計４０点）、学期末のテスト（６０点）で評価します。 学期末テストは４５分で行います。
教科書	なし（授業時にレジュメ・資料を配付します）
参考書	『現代文化のフィールドワーク入門』（ミネルヴァ書房、2012年）
履修上の留意点	授業時には毎回、小レポートを実施します。感想・意見・疑問など何でもかまわないので、受講者の積極的な参加を期待します。

科目群：基礎分野

3年度	授業科目	英語Ⅰ	担当教員	島崎　寛子	単位（時間数）	1（30）
第1学年					担当時間数	30

授業科目に関連した実務経験の内容	企業にて通訳・翻訳経験7年
実務経験を活かした実践的な授業内容	通訳・翻訳の経験を活かし、看護師の日常業務に必要な英語に慣れ親しみ、外国人患者と意思疎通がはかれるようにグループワークを取り入れている。

学習目的・目標	（目的） 英語で意思疎通をはかれるための、必要な英会話ができるようになる。 英語で意思疎通をはかれるための、必要な英語の知識を身につける。 看護師の日常業務に必要な英語に慣れ親しむ。 （目標） 患者などへの質問や患者などからの応答が英語でできるようになる。 患者などへの指示や説明を英語でできるようになる。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	4月22日	オリエンテーション	講義	教室	なし
2	5月13日	Unit 1 Please speak more slowly.	講義	教室	予習／復習
3	5月20日	Unit 2 Where are you from?	講義	教室	予習／復習
4	5月27日	Unit 3 Could you tell me your address, please?	講義	教室	予習／復習
5	6月3日	Unit 4 What department do you want to visit?	講義	教室	予習／復習
6	6月10日	Unit 5 Where is the X-ray department?	講義	教室	予習／復習
7	6月17日	Unit 6 What are your symptoms?	講義	教室	予習／復習
8	6月24日	Unit 7 Where does it hurt?	講義	教室	予習／復習
9	7月1日	Unit 8 Have you ever had any serious illnesses?	講義	教室	予習／復習
10	7月8日	Unit 9 Take one tablet, four times a day.	講義	教室	予習／復習
11	7月15日	Unit 10 Let me make an appointment for your test.	講義	教室	予習／復習
12	9月2日	Unit 11 Your surgery will be tommorrow at 9 a.m.	講義	教室	予習／復習
13	9月9日	Unit 12 How are you feeling today?	講義	教室	予習／復習
14	9月16日	総復習	講義	教室	予習／復習
15	10月7日	試験　（筆記）	講義	教室	**復習**

評価方法	小テスト、課題提出、授業態度、出席(20%)、期末試験(筆記)(80%) 末期試験(筆記)は45分で行います。
教科書	知念クリスティーン、上瀧真紀惠　著「クリスティーンのやさしい看護英会話」医学書院 （ISBN4-260-34181-2 ）
参考書	配布プリント、講義中に適宜紹介する。
履修上の留意点	病院などの場面を想定した会話のグループワークやロールプレイング等を講義の一部に取り入れる。 医療用語の基本的な英語表現を毎回覚える。 授業では、プリントやノートにメモし、自分なりにまとめて予習・復習すること。 質問・欠席連絡は原則一週間以内に連絡し、学習内容や課題について説明を受けること。

※実務経験は令和3年4月1日現在

科目群：基礎分野

3年度	授業科目	英会話Ⅰ	担当教員	ジョージ・フー	単位（時間数）	1（15）
第1学年					担当時間数	15

授業科目に関連した実務経験の内容	英会話講師経験26年
実務経験を活かした実戦的な授業内容	英会話講師としての経験を活かし、外国人患者と意思疎通がはかれるように英会話を取り入れている。
学習目的・目標	国際社会に対応するため、外国語に親しみ日常生活における表現能力を身につける。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	/	自己紹介　— 先生と学生達	lecture	教室	テキスト
2	/	Nice to meet you！ 自己紹介 ユニット①	lecture	教室	テキストとワークブック
3	/	Make yourself at home！ Asking Questions ユニット②	lecture	教室	テキストとワークブック
4	/	What Time is Dinner? ユニット④	lecture	教室	テキストとワークブック
5	/	How was it? ユニット⑥	lecture	教室	テキストとワークブック
6	/	Halloween Party! Game(s)	lecture	教室	
7	/	Help yourself　ユニット⑦	lecture	教室	テキストとワークブック
8	/	I' like fifteen Tickets, please.　ユニット⑧	lecture	教室	テキストとワークブック
9	/	I'm Hungry.　ユニット⑬	lecture	体育館	テキストとワークブック
10	/	クリスマス会	lecture	体育館	テキストとワークブック
11	/	クリスマス会	lecture	教室	
12	/	How Much is it?　ユニット⑮	lecture	教室	
13	/	まとめ復習	lecture	教室	
14	/	まとめ復習		教室	
15	/	Test		教室	

評価方法	筆記試験にて評価する。試験時間は60分、配点は100点とする。
教科書	オックスフォード　ユニバーシティ　プレス「My First PASSPORT1」
参考書	ワークブックを使用する。

※実務経験は令和3年4月1日現在

科目群：基礎分野

4年度	授業科目	英会話Ⅱ	担当教員	ジョージ・フー	単位（時間数）	1（15）
第2学年					担当時間数	15

授業科目に関連した実務経験の内容	英会話講師経験26年
実務経験を活かした実戦的な授業内容	英会話講師としての経験を活かし、外国人患者と意思疎通がはかれるように英会話を取り入れている。
学習目的・目標	国際社会に対応するため、外国語に親しみ医療現場における表現能力を身につける。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	／	授業内容説明（オリエンテーション）	lecture	教室	
2	／	テキストユニット①　&　②	lecture	教室	
3	／	テキストユニット③	lecture	教室	
4	／	テキストユニット④	lecture	教室	
5	／	テキストユニット⑤	lecture	教室	
6	／	テキストユニット⑥	lecture	教室	
7	／	テキストユニット⑦	lecture	教室	
8	／	テキストユニット⑧	lecture	教室	
9	／	テキストユニット⑨	lecture	教室	
10	／	テキストユニット⑩	lecture	教室	
11	／	テキストユニット⑪	lecture	教室	
12	／	テキストユニット⑫	lecture	教室	
13	／	復習①	lecture	教室	
14	／	復習②	lecture	教室	
15	／	オーラル・コミュニケーションテスト		教室	

評価方法	ロールプレイとオーラル・コミュニケーションで100点で評価する。
教科書	医学書院　クリスティーンのやさしい看護英会話
参考書	
履修上の留意点	事前にレッスン範囲のテキストを読み予習しておくこと

※実務経験は令和3年4月1日現在

科目群:基礎分野

3年度	授業科目	保健体育	担当教員	榎本　宣子	単位(時間数)	2(60)
第1学年					担当時間数	60

学習目的・目標	生涯にわたっての運動の必要性を理解し、その理論と実践を学ぶ。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	/	オリエンテーション、授業の進め方の説明など。	講義	教室	
2	/	ストレッチの理論と実践(そのⅠ－基本)	実技	体育館	
3	/	ストレッチの理論と実践(そのⅡ－目的別のストレッチ) 卓球　フォアハンドの基本	実技	体育館	
4	/	ストレッチの理論と実践(そのⅢ－応用) 卓球フォアハンドの応用1	実技	体育館	
5	/	ストレッチの理論と実践(そのⅣ－応用) 卓球バックハンドの基本	実技	体育館	
6	/	卓球　バックハンドの応用　サービスの方法。 簡易サービスゲーム	実技	体育館	
7	/	卓球　いろいろな種類の打球Ⅰ シングルスゲーム	実技	体育館	
8	/	卓球　いろいろな種類の打球Ⅱ ダブルス簡易サービスゲーム	実技	体育館	
9	/	卓球　いろいろな種類のショットⅡ ダブルスゲームのルール・審判	実技	体育館	
10	/	卓球　いろいろな種類の打球Ⅲ　ゲームのルール・審判	実技	体育館	
11	/	卓球　スマッシュの完成のための個別練習Ⅰ ダブルスゲーム	実技	体育館	
12	/	卓球　スマッシュの完成のための個別練習Ⅱ ダブルスゲーム	実技	体育館	
13	/	ストレッチの理論と実践(そのⅤ－応用) 卓球　スマッシュのレシーブ練習。ダブルスゲーム	実技	体育館	
14	/	卓球　シングルスエレベーターゲーム (技術レベルに応じたシングルスゲームⅠ)	実技	体育館	
15	/	卓球　シングルスエレベーターゲーム (技術レベルに応じたシングルスゲームⅡ)	実技	体育館	
16	/	卓球　シングルスゲーム (技術レベルに応じたシングルスゲームⅢ)	実技	体育館	
17	/	ストレッチの理論と実践(そのⅥ) バトミントン　ラケットのにぎりかた・フォーム	実技	体育館	
18	/	バトミントン　フォアハンドとバックハンドの基本サービスの方法 簡易サービスゲーム	実技	体育館	
19	/	いろんな種類のショットⅠ(ハイクリア・ドライブ・ヘアピン) 簡易サービスゲーム	実技	体育館	
20	/	いろんな種類のショットⅡ(プッシュ) ダブルス簡易サービスゲーム　ダブルスゲームのルール・審判	実技	体育館	
21	/	いろんな種類のショットⅢ(ロブ)　バトミントンの歴史 ダブルスゲーム	実技	体育館	
22	/	いろんな種類のショットⅣ(応用)ダブルスゲーム ダブルスのフォーメーション	実技	体育館	
23	/	いろんな種類のショットⅤ(スマッシュ)ダブルスゲーム	実技	体育館	
24	/	ロングサービスとショートサービス。ダブルスゲーム	実技	体育館	
25	/	各ショットの完成のための個別練習。ダブルスゲーム	実技	体育館	
26	/	シングルスゲームのルール・審判	実技	体育館	

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
27	/	技術レベルに応じたシングルスゲーム からだほぐしの理論と実践Ⅰ	実技	体育館	
28	/	技術レベルに応じたシングルスゲーム からだほぐしの理論と実践Ⅱ	実技	体育館	
29	/	運動と栄養	講義	教室	
30	/	試験・授業のまとめ		教室	
評価方法		他との比較ではなく、それぞれ個人の技術的な進歩度と、授業への理解度と、積極的な参加度によって総合的に評価します。テストのほか、授業の練習記録とレポートを求めることがありますが、もちろんこれも評価の対象になります。			
教科書		テキストの指定はしません。授業の中で資料を配布します。			
参考書					
履修上の留意点		ウォームアップやウォームダウンなどコンディショニングづくりに必要なストレッチの基本的プログラムを授業の中で紹介します。傷害の予防、疲労回復に効果があり心身のリフレッシュやリラクゼーションに有効です。日常の生活に取り入れ健康づくり、体力づくりをしましょう。			

科目群:基礎分野

3年度	授業科目	家族論	担当教員	龍　祐吉	単位(時間数)	1(30)
第1学年					担当時間数	30

学習目的・目標	看護師として，家族看護を効果的・適切に実施するためには，拡大家族から核家族等家族の変遷とその背景・原因について理解が不可欠である。本講義では時代的変遷に伴う，新たな家族観と諸問題について論じる。具体的には，晩婚化，非婚化，離婚，ステップ・ファミリー，マルトリートメント(虐待)，ドメスティックバイオレンス，孤独死，介護等の負担，少子化，子どもの貧困等があげられる。現代の家族を取り巻く諸問題を取りあげ，その本質について考えていく。

回数	月日	学習内容	方法	場所	課題
1	/	家族とは何か	講義	教室	最近の家族
2	/	家族の変動	講義	教室	家族概念
3	/	対人魅力(好意と恋愛)	講義	教室	対人魅力
4	/	配偶者の選択と結婚	講義	教室	結婚観
5	/	結婚の多様化	講義	教室	同性婚・国際結婚
6	/	夫婦関係と離婚	講義	教室	結婚満足度
7	/	親子関係の成立	講義	教室	生物学的視点
8	/	親子関係の成立(ひとり親、ステップファミリー)	講義	教室	再婚の意義
9	/	虐待と家族	講義	教室	虐待
10	/	高齢者と家族	講義	教室	老化
11	/	高齢者介護と諸問題	講義	教室	介護問題
12	/	子どもの貧困と家族支援	講義	教室	貧困
13	/	少子化と子育て環境	講義	教室	少子化
14	/	生殖補助医療と家族	講義	教室	人工授精
15	/	授業:30分(総括)試験:60分	講義	教室	振り返り

評価方法	毎回課す振り返りシート(リフレクションペーパー)と定期試験の結果を通じて総合的に評価する。
教科書	問いからはじめる家族社会学―多様化する家族の包摂に向けて―　有斐閣
参考書	対人援助職のための家族理解入門　中央法規
履修上の留意点	受講者の理解を促すために，講義用の資料を配付する。